



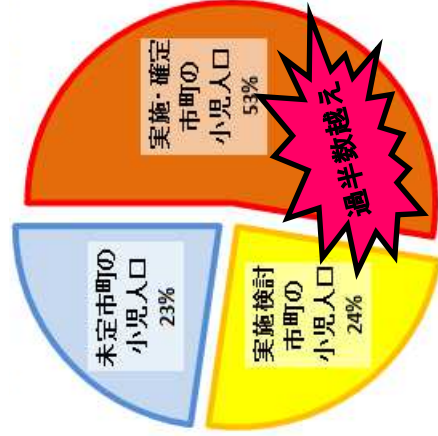
2017・10・8 第24号
発行：三重県議会議員
山本りか事務所

山本りか県議会通信



市町独自努力進む

子ども医療費窓口無料化
県内0～6歳における
実施・確定・検討対象の割合



過半数越え

子ども医療費窓口無料 県H31年導入を検討中

限定 障がい児童 0～4歳
一人親家庭児童 0～4歳



実施・確定	市町の小児人口
■	52,817
実施検討	市町の小児人口
■	24,634
未定市町の小児人口	22,782

みえDataBoX(人口・世帯の動き平成28年10月1日現在)

これまで市民団体のみなさんと一緒に取り組んできたことが少しずつ実現の方向に向かっています。

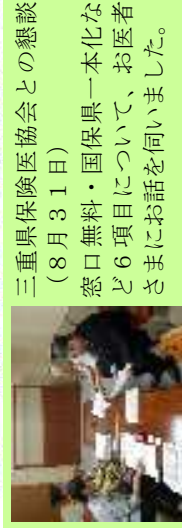
松田医療対策局長は、「貧困対策」として所得制限を設けて限定的に実施する方向で検討していることを、はじめて明かしました。

「子ども、障がい者、一人親家庭の3つの福祉医療費のうち、どれひとつも窓口無料になっていないのは、わずか6県。うち4県はこれから行う計画があります。全く行わないというのは、奈良県と三重県だけになります。これまで、検討すると言いつながらなかなか見えてこない。どのように検討しているのかとの、岡野県議(日本共産党)の一般質問に――

市町いじめ許せません

もなく、いじめでしかない。一つ一つを調査すること問うと、鈴木知事は、「一つ一つまではいかないが、市の話も聞き、状況をしっかりと把握するということは大事だと思っている」と応えました。

りかさパルーム 山本りか事務所
沖の島町郵便局西隣り
☎・fax 059-350-8010
月～金曜日 午後1時～3時 桐山在室
HP <http://rika.icpwweb.net/> FB も見てね



三重県保険医療協会との懇談 (8月31日)

窓口無料・国保一本化など6項目について、お医者さまにお話を伺いました。

三重の福祉医療費窓口無料を進める会のみなさんが「要望書」を提出されるのに同席しました。(9月6日)

障がい者の方からは「月5万円もの医療費がかかる。立て替え払いばかり」と、子育てママからは「他県から来て窓口無料でなくビックリした。イクボス知事の名に恥じるのでは？」との声も出ました。



9月25日 関連質問

山本りか県議は、所得階層別に医療費無料の実施状況との効果検証をした論文が出され、「低所得の家庭ほど、医療費無料の拡大をすれば、入院が減って結果医療費がからなくなる」とのまとめがなされたことを紹介し、「医療費削減というなら、自信をもつて、一刻も早く窓口無料や範囲の拡大を実現すべき」と求めました。

また、「松田局長が県に先行して窓口無料を実施する市町には『増加分については県の助成をしない』と言いつたことは大問題。鈴鹿市の4～5月の実績を見ても、窓口無料によつて不必要な受診が増えたとは言いつれない。受診内容を細かく確認もせず増えた分を助成しないのは、根拠

窓口無料化で、最後まで取り残される三重県

- 都府県で実施中
- 9割以上の市町村で実施中
- 来年度から実施予定

